

令和5年度 地域障害児支援体制充実のためのICT化推進事業
障害児支援分野のICT導入モデル事業 実績報告

自治体名 神奈川県

【基本情報】

フリガナ	シャカイフクホシンヨウカイ
法人名	社会福祉法人 光友会
フリガナ	タイヨウノイキヤロツ
事業所名	太陽の家キャロット
提供サービス(複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択)	
児童発達支援	
職員数(常勤換算数)【「従業員1ヶ月の勤務経時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	
48.0 人	
参考情報:令和元年度から令和4年度に係るICT導入モデル事業補助実績(複数回補助を受けている場合、補助年度は直近を選択)	
(補助実績)	(補助年度)

事業実績

- ☐ (1)ICTの導入を実施した分野(特に該当するもの1つに☑)
- ☐ 作業の迅速化に係る取組(現場や外出先での入力支援、支援記録の作成など)
 - ☐ 情報の共有化に係る取組(職員間の情報の伝達など)
 - ☐ 業務の統合化に係る取組(勤怠管理、シフト表作成、人事・給与業務など)
 - ☐ その他

(2)事業所が抱える課題

環境
支援室にはWi-Fi環境が整っており、オンラインを活用した簡易的な作業も事務所へ戻らなければできない状況。
また、支援後に対応するため事務作業が蓄積される一方である。

ハード面
パソコンがカメラ非搭載の物や十分に整っていない。そのため、オンライン研修や面談は等へ困難を期している。

(3)ICT機器等を導入した業務内容(概要)

簡易的な作業であれば支援室で即座に行い、利用者満足度をあげるとともに業務の蓄積や負担軽減を図ることが可能となる。
ウェブでの面談や担当者会議を活用して、移動時間の軽減を図る他、準備などの手間を省けることにより、より支援が安心安全に行える。
職員のゆとりも生まれ、事故の軽減等が図れる他、広域においては、心理的ストレスの解消が図れ働きやすい職場環境が構築されると考える。

(4)ICT機器等導入前の定量的指標及びICT機器等導入により想定される定量的指標

① 前記2(3)に係る現在(ICT機器等導入前)の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		年間業務時間 D(B×C)	1人あたり 業務時間 (D/業務従事者数)
		A.1ヶ月当たり	B.年間発生件数 (A×12)		
面談	10 人	15 件	180 件	80 分	144 時間
会議・研修	3 人	3 件	36 件	240 分	270 時間
簡単な事務	48 人	90 件	1,080 件	15 分	270 時間
		108 件	1,296 件	335 分	684 時間

② ICT機器等導入後の前記2(3)に係る想定業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		年間業務時間 D(B×C)	1人あたり 業務時間 (D/業務従事者数)
		A.1ヶ月当たり	B.年間発生件数 (A×12)		
面談	10 人	10 件	120 件	50 分	100 時間
会議	3 人	2 件	24 件	120 分	48 時間
簡単な事務	48 人	80 件	960 件	3 分	48 時間
		92 件	1,104 件	173 分	196 時間

年間業務時間数想定削減率(%)

#DIV/0!

※作成文書量は該当する文書がある場合に限り入力すること。

③ 前記2(3)に係る現在(ICT機器等の導入前)の作成文書量

作成文書	A.1ヶ月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)	
		0 ページ	0 ページ
		0 ページ	0 ページ
		0 ページ	0 ページ
		0 ページ	0 ページ

④ ICT機器等導入後の前記2(3)に係る想定作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
		0 ページ
		0 ページ
		0 ページ
	0 ページ	0 ページ

年間作成文書量想定削減率(%)

#DIV/0!

(5)想定削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。